



bsk report

Flag

フレンドリーカップ
特集号

No.4

2018年 8月28日発行

第22回 フレンドリーカップが開催されました。

暑さが少しやわらいだ8月18日、市立柏高校体育館にて、bsk@柏主催によるフレンドリーカップが行われました。約2年半の部活動をやり終えた、中学3年生女子を対象とするこのイベントも、今回で22回を数えます。参加は個人単位。なるべく同じ学校にならないようにチーム編成をし、総あたりでゲームをして優勝を競います。

笑顔、笑顔でつながります

今年は9つの学校から21名のみなさんが参加してくれました。総体を終えてから約1ヶ月が経っていましたが、さすが、躍動感あふれるプレーはまだ健在。審判として参加して下さった先生から、「いいパスが思いのほか多くて驚いた。仲間としてよくつながっていて、見ていて面白い」と感想をいただきました。そうなんです。それが、このイベントの肝心なところ。今日初めて組むメンバー、最初こそ遠慮があるものの、すぐにボールがつながっていく。失敗しても笑顔、ナイスプレーならなおさら笑顔。その笑顔のやりとりが、バスケットの熱を上げていくようです。それを観ている保護者さんも笑顔。私たちスタッフも、思わず笑顔の応援です。

そもそも、このイベントを開催するきっかけになったのは、私たちが保護者時代だったときのこと。娘が3年生で引退をして、これで終わりか、とバスケ応援ロス状態に。その中で、もう一度、娘たちがバスケするところを見たい！と声をかけあったのが始まりです。

「今日、一番大事なことは」

保護者さんに感想を伺うと、「大会のときの悲壮感？がなくて、本当に楽しそう」「きびしい練習をよくがんばったから、今日は楽しんで」とのこと。練習に励んだお子さんを一番近くで見守った、親御さんならではの思いです。でもそれは、スタッフも同じ。会の始まりに、先生から、「今日一番大事なことは、楽しむこと」とのお話をいただきました。汗も涙もたくさん詰まった部活動、ここまで一生懸命がんばったからこそ、今日なんです。

たくさんの経験を糧に

閉会式のあとには、晴れやかな顔でおしゃべりの輪があちこちにできました。部活動で得た経験を糧に、この先もどうぞ、がんばってください。私たちも応援しています。



ゲームの様子。審判の方もいます。



監督は保護者さん



優勝カップの授与

